

ダイヤスーパーセラマイルドIR

【標準施工仕様】

●コロナル屋根の塗替え (フッ素樹脂塗料下地を除く)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1 下地調整	①素地に付着しているゴミ、ほこり、カビ、藻などは、高圧水洗浄などでいいに取り除いて下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤブラシ・タワシなどを用いて取り除いて下さい。洗浄後は充分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺などは入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている場合はきちんと除去して下さい。 ②寒冷地区における屋根材は、塗膜のフクレ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢がでないなどの仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。 ④雨あがり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2 下塗り	ダイヤSPRカラープライマー (ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	7kg 1kg 0~1%	0.16kg/㎡ 50㎡/セット/1回	1~2	(4時間~7日)	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
3 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	10kg 2kg 0~3%	0.30~0.35kg/㎡ 35~40㎡/セット	2	4時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛
4 縁切り	水切り部で上下の重なり部分が塗料でつまっている場合は必ずススキ・カッターなどを用いて縁切りを行なって下さい。						

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間かなりの差異がありますので注意して下さい。
※ダイヤSPRカラープライマーはホワイト、ダイヤスーパーセラマイルドIRは標準色を使用して下さい。 ※ダイヤSPRカラープライマーは、下地の状況が悪く、吸い込みが激しい場合は2回塗布して下さい。

●金属屋根塗装替え (フッ素樹脂塗装鋼板の塗替えは除く)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1 下地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン (SSPC-SP3、ISO St3) 程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい(詳細、仕様書参照)。 ②は、ゴミ等付着物、汚れ、劣化塗膜がある場合は、密着低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。 ③亜鉛メッキ鋼板 (亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板) に塗装する場合、6ヶ月以上放置し表面光沢を消失させるか、或いはリン酸処理等を施してから塗装して下さい。他、上記工程表③④に順ずる。						
2 発錆部補修塗り	ダイヤヒスイエボサビ#200A (ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	14.4kg 1.6kg 0~2%	0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
3 下塗り	ダイヤヒスイエボサビ#200A (ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	14.4kg 1.6kg 0~2%	0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
4 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	10kg 2kg 0~3%	0.30~0.35kg/㎡ 35~40㎡/セット	2	4時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間かなりの差異がありますので注意して下さい。
※ダイヤヒスイエボサビ#200Aはホワイト、ダイヤスーパーセラマイルドIRは標準色を使用して下さい。

●外壁面の仕上げ (フッ素樹脂塗料下地を除く)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1 下地調整	①下地に付着しているゴミ、ホコリ油脂類、異物は高圧水洗浄などで取り除いて下さい。 ②チョーキング、脆弱部をサンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。 他、上記工程表③④に順ずる。						
2 下塗り	ダイヤSPRカラープライマー (ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	7kg 1kg 0~1%	0.10~0.15kg/㎡ 54~80㎡/セット	1	—	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
3 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナー-N	10kg 2kg 0~3%	0.30~0.35kg/㎡ 35~40㎡/セット	2	16時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間かなりの差異がありますので注意して下さい。
※ダイヤSPRカラープライマーはホワイト以外に、ダイヤアクレスクリアー、ダイヤシャネツウォール主材も使用可能です。 ※ダイヤスーパーセラマイルドIRは標準色を使用して下さい。
※ダイヤSPRカラープライマーは、下地の状況が悪く、吸い込みが激しい場合は2回塗布して下さい。 ※既存塗膜の種類によりフティング(シワ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【包装単位】

ダイヤヒスイエボサビ#200A (ホワイト) …… 16kg (基剤14.4kg/硬化剤1.6kg) セット
 ダイヤSPRカラープライマー (ホワイト) …… 8kg (基剤7kg/硬化剤1kg) セット
 ダイヤシンナー-N …… 16% 缶
 ダイヤスーパーセラマイルドIR …… 12kg (基剤10kg/硬化剤2kg) セット

【施工・管理上の注意】

- ①セメント質下地は、表面の含水率が10%以下 (pH10以下) になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ②材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、施工後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりします。
- ③下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じの原因となります。
- ④施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違い・ムラの原因となります。
- ⑤施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ないおそれがあります。
- ⑥施工後24時間以内に降雨、結露等の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑦本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑧希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みが強い場合は少なめに希釈して下さい。
- ⑨下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- ⑩常に結露が発生する地域・時期・場所の施工は避けて下さい。
- ⑪工程間隔時間は充分取って下さい。
- ⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

【適用下地】

- 【屋根】
- ・新設金属屋根：鋼板、亜鉛メッキ鋼板 (亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)
 - ・金属屋根の塗替え：アクリル樹脂塗料、ポリウレタン樹脂塗料、変性シリコン樹脂塗料、特殊ポリエステル樹脂塗料、アクリルシリコン樹脂塗料塗装面 (フッ素樹脂塗装鋼板の塗替えは除く)
 - ・コロナル屋根の塗替え (フッ素樹脂塗料下地を除く)
- 【壁】
- ・建物の外壁などの仕上げ (フッ素樹脂塗料下地を除く)

- ⑭シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- ⑮塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑯ダイヤスーパーセラマイルドIRは、希釈する場合うすめ過ぎるときれいに仕上らず、色相が変わって見えたり、透熱性能が発揮できないことがありますので、希釈量を厳守し、所要量を確保して下さい。
- ⑰ダイヤスーパーセラマイルドIRは調合後15~20分程度熟成してから使用して下さい。色によっては色ムラが発生する場合があります。
- ⑱建物の部位 (斜壁、笠木のないバレー、庇、鼻先、雨水がからまないベランダ内壁など) によっては十分低汚染性を発揮できない場合があります。
- ⑲施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようとし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は充分換気を行ってください。
- ⑤廃塗料、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦酔って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ⑪安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。



〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
 ☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021
 URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取扱店

DIA ダイヤスーパーセラマイルドIR

有機・無機のハイブリッド効果を生かしつつ遮熱を実現。



遮熱型

超耐候型

超低汚染型

難燃性

高硬度

マンション

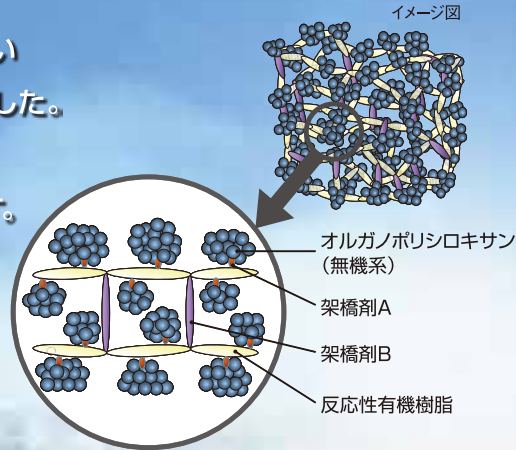
戸建

倉庫・工場

ダイヤスーパーセラマイルドIR

有機・無機のハイブリッド効果(超耐候・超低汚染)を生かしつつ遮熱を実現。
壁・屋根の塗り替えの周期を大幅に伸ばしつつ、省エネにつなげていきます。

紫外線に対してフッ素塗料よりも強く、硬質の塗膜が汚れを寄せ付けない
“有機・無機変性塗料”のスーパーセラマイルドに遮熱性能を付加しました。
劣化や汚染によって損なわれてしまう遮熱性能は
スーパーセラマイルドのポリシロキサン結合が長期にわたって守ります。



有機樹脂と架橋剤によるサスペンション効果で硬くてフレキシブル性に富む

ダイヤスーパーセラマイルドIR 特長

遮熱型

室内の温度上昇の原因の赤外線を反射し快適な空間を作ります。(【参考1】参照)

超耐候型

高い耐候性(屋外の自然環境に耐える性能)が大切な建物を守り続けます。(【参考2】参照)

超低汚染型

塗膜が完全に成膜するとセルフクリーニング(雨水等で洗い流されます)機能が発揮され汚れを防ぎます。

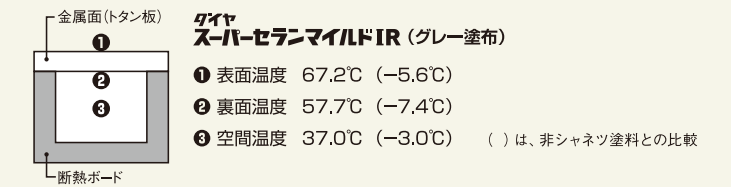
難燃性

万が一の火災時にも延焼しにくい塗料です。

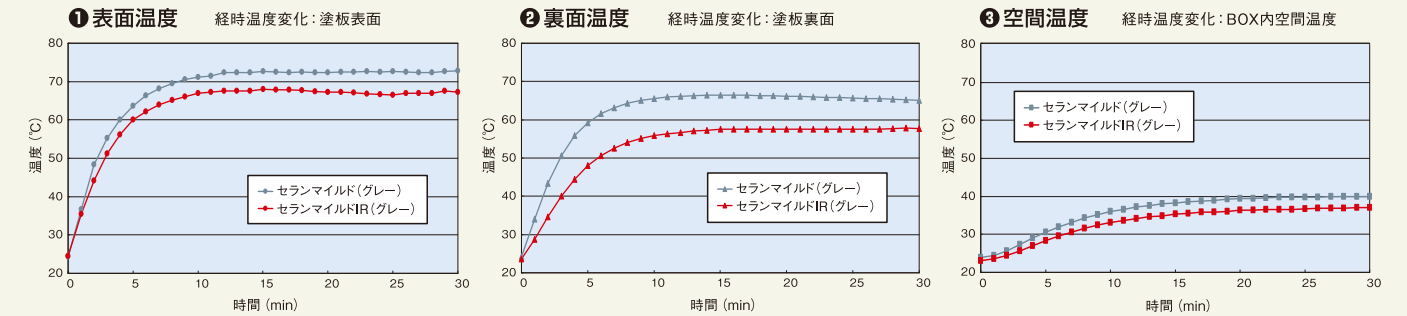
高硬度

高硬度(4H)であるため傷が付きにくい塗料です。

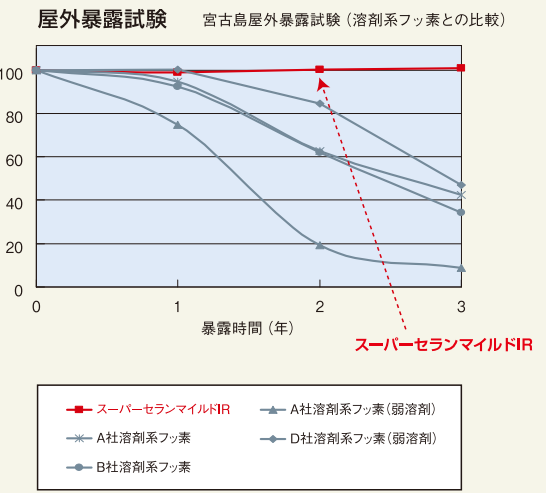
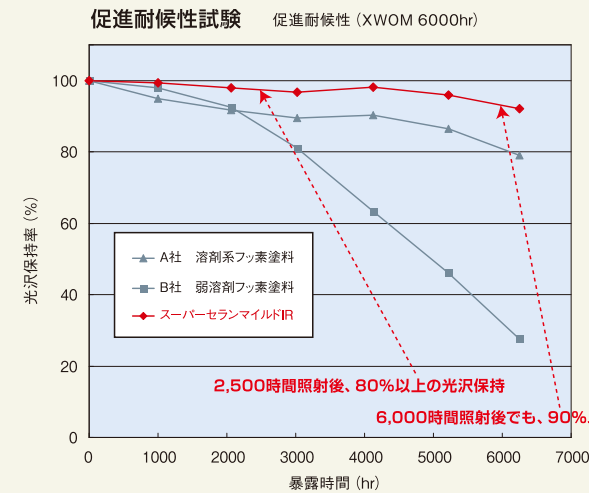
【参考1】スーパーセラマイルドIRの遮熱の効果(例)



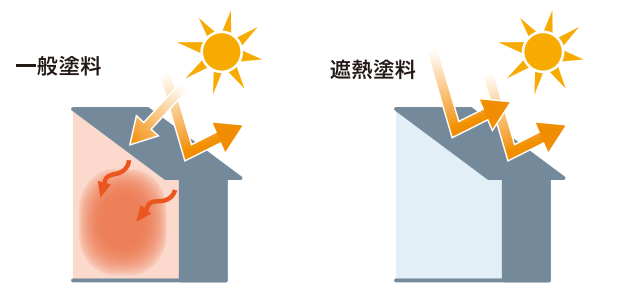
経時温度変化 (BOX内)



【参考2】スーパーセラマイルドIRの耐候性能



遮熱のメカニズム



着色顔料にカーボンブラックを使用。これが赤外線を吸収し、温度が上昇。

特殊顔料の採用により赤外線を反射し、温度上昇を抑制。

遮熱塗料に求められる性能 耐候性・耐汚染性

- 劣化が進むと塗膜表面の平滑性が失われ、反射率が低下。
- 汚れが付着し黒くなると反射率が低下。

ダイヤスーパーセラマイルドIRはこれらの問題をクリアした優れた遮熱塗料です。

スーパーセラマイルドIR 標準色

屋根用標準16色

色名	色系統	JIS K 5675	
		1級相当	近赤外線日射反射率(%)
IR-01	ブルー系	○	63.3
IR-02	ブルー系	○	49.4
IR-03	ブルー系	○	68.7
IR-04	ブルー系	○	55.9
IR-05	クリーム系	○	66.4
IR-06	グリーン系	○	43.0
IR-07	グリーン系	○	33.4
IR-08	グレー系	○	65.9
IR-09	グレー系	○	60.1
IR-10	グレー系	○	46.4
IR-11	チョコレート系	○	60.4
IR-12	チョコレート系	○	43.1
IR-13	チョコレート系	○	35.7
IR-14	ワインレッド系	○	62.2
IR-15	ワインレッド系	○	43.2
IR-16	ワインレッド系	○	38.1

※日射反射率は JIS K 5602 の試験に基づいて、近赤外線波長域を測定したものであり、下地の状態や塗装仕様等により異なる場合があります。
※屋根用の標準色を壁にご使用いただくことは可能です。
※ JIS K 5675 「屋根用高日射反射率塗料」の日射反射率に関する品質規格に適合しません。

壁用標準20色

色名	色系統	JIS K 5675	
		1級相当	近赤外線日射反射率(%)
IR-30	クリーム系	○	75.2
IR-31	グレー系	○	66.4
IR-32	オレンジ系	○	64.1
IR-33	グレー系	○	74.1
IR-34	グレー系	○	69.0
IR-35	ブラウン系	○	52.0
IR-36	ベージュ系	○	74.2
IR-37	ベージュ系	○	70.3
IR-38	ブラウン系	○	53.2
IR-39	ベージュ系	○	72.0
IR-40	サーモン系	○	72.6
IR-41	ブラウン系	○	59.9
IR-42	ベージュ系	○	71.0
IR-43	ブルー系	○	78.0
IR-44	グリーン系	○	69.6
IR-45	クリーム系	○	71.2
IR-46	グリーン系	○	75.4
IR-47	グレー系	○	62.9
IR-48	ワインレッド系	○	74.8
IR-49	ブルー系	○	73.5